

所在地：高知県津野町
面積：6,496.5ha

選定年月日：平成21年2月12日、平成24年1月24日追加
選定基準：二(一)(三)(五)(八)

(1) 概要

津野町は四万十川の源流点である不入山(いらざやま)を含む源流域に位置します。流域には豊かな自然が残り、「四万十源流の森」として保全されています。

津野町には、平野部が少なく、河岸から上部の山林まで続く傾斜地に張り付くように居住地や耕作地が展開しています。一部の農地で圃場整備が実施された今も、700m級の山々を背景として、小さい石垣に支えられた小規模な畑や棚田を数多く見ることができます。かつてこうした畑では、キビ、イモ、麦、粟、豆などが作られていましたが、現在は茶畑が中心となっています。

また、沈下橋の原型ともいわれる一本橋や100年以上現役で水を送り続けるサイフォン式水路など、人と川との営みの歴史を見ることができます。

「四万十川流域の文化的景観 源流域の山村」は、四万十川の自然的条件に適応しつつ、川と共に家屋や畑地、里山等が一体となって発展した、四万十川源流域における集落の在り方を示す文化的景観です。



船戸集落



茶畑が展開する桂地区

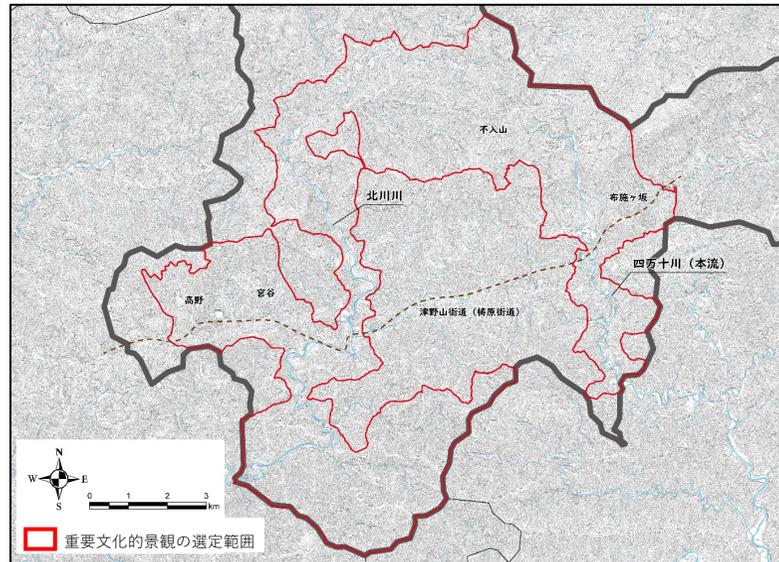


四万十川の第2支流である北川川に架かる早瀬の一本橋



不入山にある四万十川の源流点

（2）選定範囲



- 重要な構成要素：89件
- 景観重要建造物：7件、景観重要樹木：5件

（3）選定による効果

重要な構成要素である神社や民家の修理ができたことにより集落周辺の景観を守ることができました。さらに、明治維新の偉人である吉村虎太郎の生家を重要文化的景観のガイダンス施設として整備し、この施設で文化的景観の普及啓発を行うとともに、地域のグループにより地元食材を使った食事の提供や重要文化的景観を含めた周辺の観光情報の発信が行われています。

また、小学生対象の重要文化的景観をテーマにしたイベント「なぞときクイズラリー」を開催し、近年、川や山で遊ぶ機会の減っている子どもたちへ郷土の誇れる四万十川と触れる機会を創出するなど、地域の魅力の再発見に寄与しています。



なぞときクイズラリー



高野三嶋神社の修理

（4）保存活用計画などの基礎情報

- 津野町文化的景観保存調査報告書保存調査報告書（平成20年3月、津野町）（平成22年度追加申請、津野町）
- 四万十川流域の文化的景観「源流域の山村」保存活用計画（令和5年3月、津野町）
- 四万十川流域の文化的景観「源流域の山村」整備活用計画（平成26年3月、津野町）
- ホームページ

https://town.kochi-tsuno.lg.jp/department/department_kyouiku

(5) 活用事例

四万十川流域の文化的景観
 四万十川流域の文化的景観
 四万十川流域の文化的景観
 四万十川流域の文化的景観
 四万十川流域の文化的景観

源流域の山村
 上流域の山村と棚田
 上流域の農山村と流通・往来
 中流域の農山村と流通・往来
 下流域の生業と流通・往来

(高知県津野町) No.39-01
 (高知県梶原町) No.39-02
 (高知県中土佐町) No.39-03
 (高知県四万十町) No.39-04
 (高知県四万十市) No.39-05

事例39-01~05 ①

5市町連携による一体的保護を進める「四万十川流域文化的景観連絡協議会」

文化庁補助金

●行政による取り組み

四万十川流域文化的景観連絡協議会は、流域の5市町と四万十川の清流保全・流域振興の活動をする(公財)四万十川財団及び高知県文化財担当課で構成し、文化的景観を守り育てることを目的に、情報交換や施策調整を行っています。

流域で統一したデザインのロゴマークやサインの策定(平成21年度)などに連携し取り組むことにより、市町をまたいだ選定範囲において一体感のある流域景観を生み出しています。

選定から10年以上が経過し流域全体としての文化的景観の価値や意味が十分共有されていないことに課題を感じるようになり、一体的な保存・活用を進めていくために5市町が連携し保存活用計画の改定に取り組みました。(令和3・4年度) 現在は、保存活用計画の改定を受け、整備活用計画の改定に連携しながら取り組んでいます。

また、文化的景観の効果的な情報発信事業として、サスティナブル・シマント(Sustainable Shimanto)という認証制度を設け、広く情報を発信・活用できるよう取り組んでいます。(令和4・5年度)



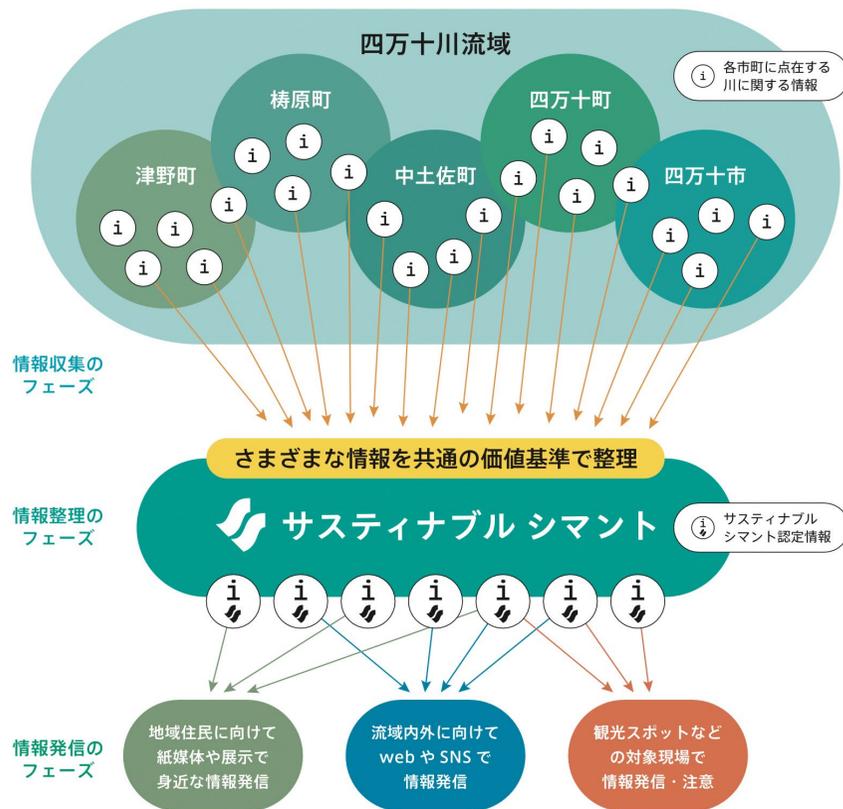
ロゴマーク



協議会の様子



5市町が連携し保存活用計画を改定



四万十川流域の情報発信事業サスティナブル・シマント

① 地域内での
魅力の共有

② 目標性の共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 資源の
確保と運用

⑥ 人づくり

(5) 活用事例

四万十流域の文化的景観	源流域の山村	(高知県津野町)	No.39-01
四万十流域の文化的景観	上流域の山村と棚田	(高知県梶原町)	No.39-02
四万十流域の文化的景観	上流域の農山村と流通・往来	(高知県中土佐町)	No.39-03
四万十流域の文化的景観	中流域の農山村と流通・往来	(高知県四万十町)	No.39-04
四万十流域の文化的景観	下流域の生業と流通・往来	(高知県四万十市)	No.39-05

事例39-01~05 ②

流域市町による「四万十街道ひなまつり」

●行政と住民等の協働による取り組み

四万十街道ひなまつりは、平成18年から実施されているひなまつりで、四万十川流域を人々が行き交う街道に見立てて名づけられています。現在は流域の住民団体でつくる「四万十遺産ネットワークス」が主催しています。

実施にあたっては、津野町、梶原町、中土佐町、四万十町、四万十市、愛媛県松野町、愛媛県鬼北町の7市町が連携・協力しています。各市町では、様々な団体や施設が協力し、ひな人形の飾りつけを行い、地域内外からの訪問客を楽しませています。展示場では、イベントや地元で作られた物品の販売なども行われ、地域の活性化にも寄与しています。

ひなまつり展示会場に携わる住民の声

毎年、テーマを変えて飾りつけをしています。町内外の人が楽しみにしてくれています。また、町内で作られたものを販売し、とても好評なので、これからも連携を進めていきたいと思えます。

団体等情報：四万十遺産ネットワークス
代表 溝渕博彦様 携帯電話：090-8971-0456



船戸地区 (津野町)



民家「おしどりの巣」
(梶原町)



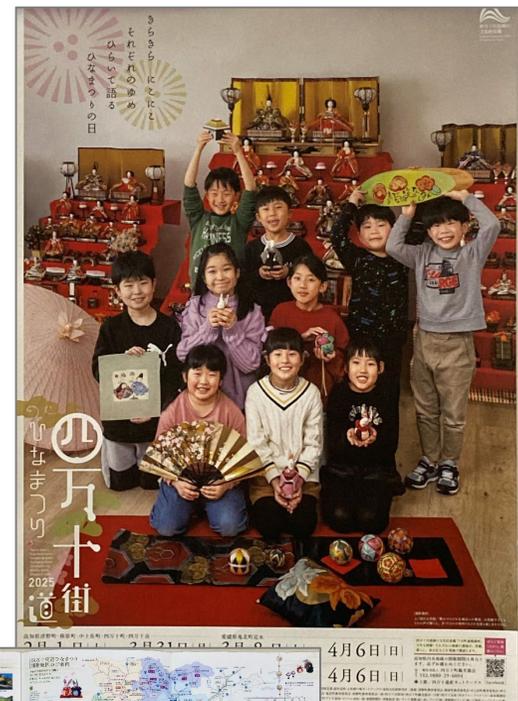
高樋沈下橋(中土佐町)



雲旧都築邸(四万十町)



網代御殿(四万十市)



子どもたちなど、地域住民の笑顔が光る、ポスターとパンフレット

① 地域内での
魅力の共有

② 活性化の
目標の共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 確保と運用

⑥ 人づくり

(5) 活用事例

事例39-01 ③

地元グループによる地域の拠点となるガイダンス施設の運営

文化庁補助金

●行政と住民等の協働による取り組み

重要文化的景観ガイダンス施設「吉村虎太郎邸」は、文化庁補助を受け、平成24年度に基本設計、平成25年度に実施設計、平成26年度に新築復元工事が行われ整備されました。吉村虎太郎邸は明治28年に取り壊されていましたが、唯一の資料として残されていた解体時に書き留められた見取り図と写真、当時の戸主や近隣住民から聞き取りを行い復元されました。

整備後の活用については、行政と地元住民による勉強会を行って検討がなされました。そして、地元住民有志によるグループ「維新の魁 虎太郎社中」が結成され、平成27年6月から指定管理者としてガイダンス施設の運営にあっています。

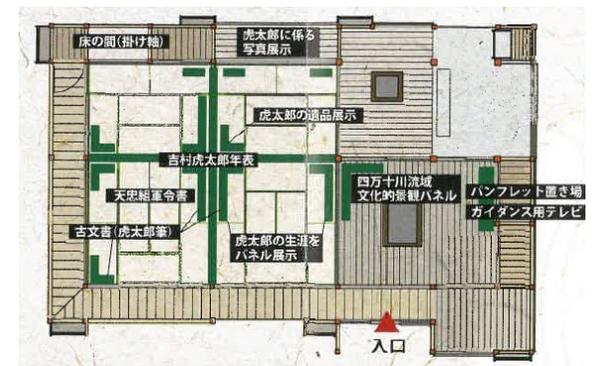
ガイダンス施設では、地元食材を使った食事の提供やイベントの実施など、文化的景観を含む観光情報の発信の場として地域振興の拠点となっています。

虎太郎社中スタッフの声

地域の情報を発信したり、季節に合わせたイベントを開催するなど、観光に訪れた人だけでなく、地元の人達からも愛される施設を目指しています。



吉村虎太郎邸の整備には、地元の職人も関わった



室内では映像やパネル、写真・古文書などを展示



アユや野菜など、地元の食材を使った食事



室内でのイベントの様子

団体等情報： 土佐四傑 吉村虎太郎邸 <http://tsuno-yoshimura-torataro.com>

① 地域内での
魅力の共有

② 活性化の
共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 資源の
確保と運用

⑥ 人づくり